年　組　番号(　　)　名前

本県ごみ排出ワースト2位

23年度 震災後初1000グラム下回る

県民1人が2023年度に出した1日当たりのごみの量は968グラム（前年度比53グラム減）で、都道府県別で全国ワースト2位だった。富山県と並んで全国ワーストだった前年度より削減が進んだが、依然として排出量が多いのが実態だ。ただ、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故後初めて排出量が千グラムを切り、震災前の10年度の水準（985グラム）も下回った。県は市町村と連携して県民や事業者への意識啓発を強化し、削減幅の拡大につなげたい考えだ。

環境省の一般廃棄物処理実態調査結果によると、ごみの排出量は全国で減少傾向にあり、23年度の全国平均は851グラム（前年度比29グラム減）だった。本県との差は117グラムと前年度より24グラム縮まった。全国ワーストの富山県は989グラム（同32グラム減）で、千グラム超の都道府県はなくなった。最も少ないのは京都府で749グラム。

県民1人が出した1日当たりのごみの量と、資源化や再生利用された割合を示すリサイクル率の推移は【グラフ】の通り。23年度のリサイクル率は13・2％（同0・4ポイント増）で、都道府県別で低い方から6番目（前年度はワースト2位）と改善したものの、全国平均（19・5％）を6・3ポイント下回った。トップは岡山県の29・0％。

ごみの排出量を県内市町村別で見ると、川俣町の1255グラム（前年度比40グラム減）が最も多く、国見、北塩原、磐梯の3町村も1200グラムを上回った。このほか福島、会津若松、郡山、相馬、南相馬、伊達、桑折、下郷、檜枝岐、只見、南会津、猪苗代、広野の13市町村が千グラムを超えた。

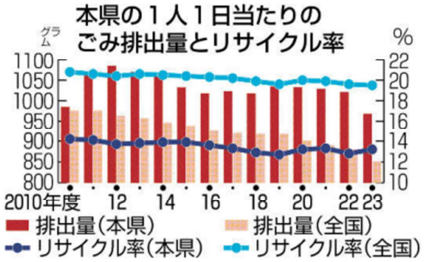
本県の排出量は震災前、全国平均で推移していた。しかし、震災後に急増し、12～15年度は全国最下位、その後もワースト3位以内が続き、22年度は7年ぶりに最下位に転落した。東日本台風や本県沖を震源とする地震で片付けごみが生じた影響もあって高止まりが続いた中、23年度の本県の前年度比削減率は5・1％で全国平均（3・2％）を上回るなど、わずかに好転の兆しが見えてきた。

県は30年度までの総合計画で、ごみの排出量を全国平均以下にする目標を掲げており「スタートラインに立った状況だ。県民にごみ削減の意識付けが着実に進むよう市町村と連携して働きかけを続けていく」（一般廃棄物対策課）としている。

1人1日当たりのごみ排出量の都道府県上位、下位順位

①京都府 749グラム	㊸秋田県 957グラム
②滋賀県 761グラム	㊹鳥取県 963グラム
③神奈川県 769グラム	㊺青森県 967グラム
④長野県 770グラム	㊻福島県 968グラム
⑤埼玉県 790グラム	㊼富山県 989グラム

本県の1人1日当たりのごみ排出量とリサイクル率



▲ 4月2日 福島民友新聞掲載

記事から知り得たこと

疑問に思ったこと、調べてみたいこと

調べてわかったこと、考えたこと（330字程度）

ごみ排出量が少ない京都府などがどんな取り組みをしているか、ネット等で調べ、家でできるものから実践してみましょう。

福島民友投稿のページ「窓」に送る